

【008】 次の表から正しくいえるのはどれか。

東京港における4島別船客乗降人員の構成比の推移

(単位：%)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
新島	19.7	19.7	19.7	18.3	17.0
神津島	12.8	16.8	15.8	12.7	14.9
八丈島	11.6	12.5	11.9	12.4	13.1
小笠原	55.9	51.0	52.6	56.6	55.0
合計	100.0 (251,667)	100.0 (278,241)	100.0 (288,801)	100.0 (283,361)	100.0 (278,587)

(注) ()内の数値は、船客乗降人員数の合計(単位：人)を示す。

- 1 2015年における新島の船客乗降人員数を100としたとき、2017年における新島の船客乗降人員数の指数は、120を上回っている。
- 2 2015年から2018年までの各年についてみると、小笠原の船客乗降人員数が最も多いのは2018年であり、最も少ないのは2017年である。
- 3 神津島の船客乗降人員数についてみると、2016年は2018年を10,000人以上、下回っている。
- 4 新島の船客乗降人員数についてみると、2016年に対する2019年の比率は、0.9を上回っている。
- 5 八丈島の船客乗降人員数についてみると、2017年から2019年までの3か年の累計は、110,000人を下回っている。

【009】 次の表から正しくいえるのはどれか。

4か国における真珠生産額の構成比の推移

(単位：%)

	2016年	2017年	2018年	2019年
A国	24.9	22.9	21.7	23.0
B国	43.0	38.1	43.9	39.9
C国	23.9	29.7	27.8	29.9
D国	8.2	9.3	6.6	7.2
合計	100.0 (13,280)	100.0 (8,449)	100.0 (9,700)	100.0 (9,428)

(注) ()内の数値は、真珠生産額の合計(単位：百万円)を示す。

- 1 A国の真珠生産額についてみると、2016年に対する2018年の比率は0.5を下回っている。
- 2 B国の真珠生産額についてみると、2016年から2018年までの3か年の累計は、14,000百万円を上回っている。
- 3 2017年におけるC国の真珠生産額を100としたとき、2019年におけるC国の真珠生産額の指数は105を上回っている。
- 4 2017年から2019年までのうち、D国の真珠生産額が最も多いのは2019年であり、最も少ないのは2018年である。
- 5 2019年についてみると、A国の真珠生産額の対前年増加額は、C国の真珠生産額の対前年増加額の0.2倍を下回っている。

【008】 5

2017年： $288801 \times 0.119 = 34367.319$ 2018年： $283361 \times 0.124 = 35136.764$
2019年： $278587 \times 0.131 = 36494.897$ $34367.319 + 35136.764 + 36494.897 = 105,998.98$ とこれが正解。

- 1 2015年： $251667 \times 0.197 = 49578.399$ 2017年： $288801 \times 0.197 = 56893.797$
 $56893.797 \div 49578.399 = 1.1475 \dots$ 115程度である。
- 2 2015年： $251667 \times 0.559 = 140681.853$ 2016年： $278241 \times 0.51 = 141902.91$
2017年： $288801 \times 0.526 = 151909.326$ 2018年： $283361 \times 0.566 = 160382.326$
最も多いのは2018年、最も少ないのは2015年。
- 3 2016年： $278241 \times 0.168 = 46744.488$ 2018年： $283361 \times 0.127 = 35986.847$
 $46744.488 - 35986.847 = 10757.641$ 上回っている。
- 4 2016年： $278241 \times 0.197 = 54813.477$ 2019年： $278587 \times 0.17 = 47359.79$
 $47359.79 \div 54813.477 = 0.864 \dots$ 0.9を下回っている。

【009】 3

2017年： $8449 \times 0.297 = 2509.353$ 2019年： $9428 \times 0.299 = 2818.972$
 $2818.972 \div 2509.353 = 1.1233 \dots$ よってこれが正解。

- 1 2016年： $13280 \times 0.249 = 3306.72$ 2018年： $9700 \times 0.217 = 2104.9$
 $2104.9 \div 3306.72 = 0.636 \dots$
- 2 2016年： $13280 \times 0.43 = 5710.4$ 2017年： $8449 \times 0.381 = 3219.069$ 2018年： $9700 \times 0.439 = 4258.3$
 $5710.4 + 3219.069 + 4258.3 = 13187.769$ 14,000百万円以下である。
- 4 2017年： $8449 \times 0.093 = 785.757$ 2018年： $9700 \times 0.066 = 640.2$ 2019年： $9428 \times 0.072 = 678.816$
最も多いのは2017年、最も少ないのは2018年。
- 5 A国 2018年： $9700 \times 0.217 = 2104.9$ 2019年： $9428 \times 0.23 = 2168.44$ $2168.44 - 2104.9 = 63.54$
C国 2018年： $9700 \times 0.278 = 2696.6$ 2019年： $9428 \times 0.299 = 2818.972$ $2818.972 - 2696.6 = 122.372$
 $122.372 \div 63.54 = 1.9259 \dots$ 2倍近くある。